

イシガレイの大きさはこれまでの範囲内

■イシガレイの大きさの傾向はこれまでと同じ

今月もイシガレイの稚魚を確認することができた。前回の調査では、過去の調査と比較して小型の個体が多かった。今回の調査でも小型が多い傾向はあるが、これまでの調査の範囲内に平均全長は収まっている (Fig.1)。また、これまでの調査では水門付近の個体は、河口で採集する個体より大きい傾向が認められていた。これは、イシガレイが、外海→河口→水門と移動しながら成長するためと考えている。今回の調査でもその傾向が認められた。

	1.5cm	2.0cm	2.5cm	3.0cm	3.5cm	平均(cm)	平均(cm)
水門付近	1	10	4	1	5	2.5	2.4
河口	1	5	3	2	1	2.4	

(Table.1 イシガレイの全長と採集数)



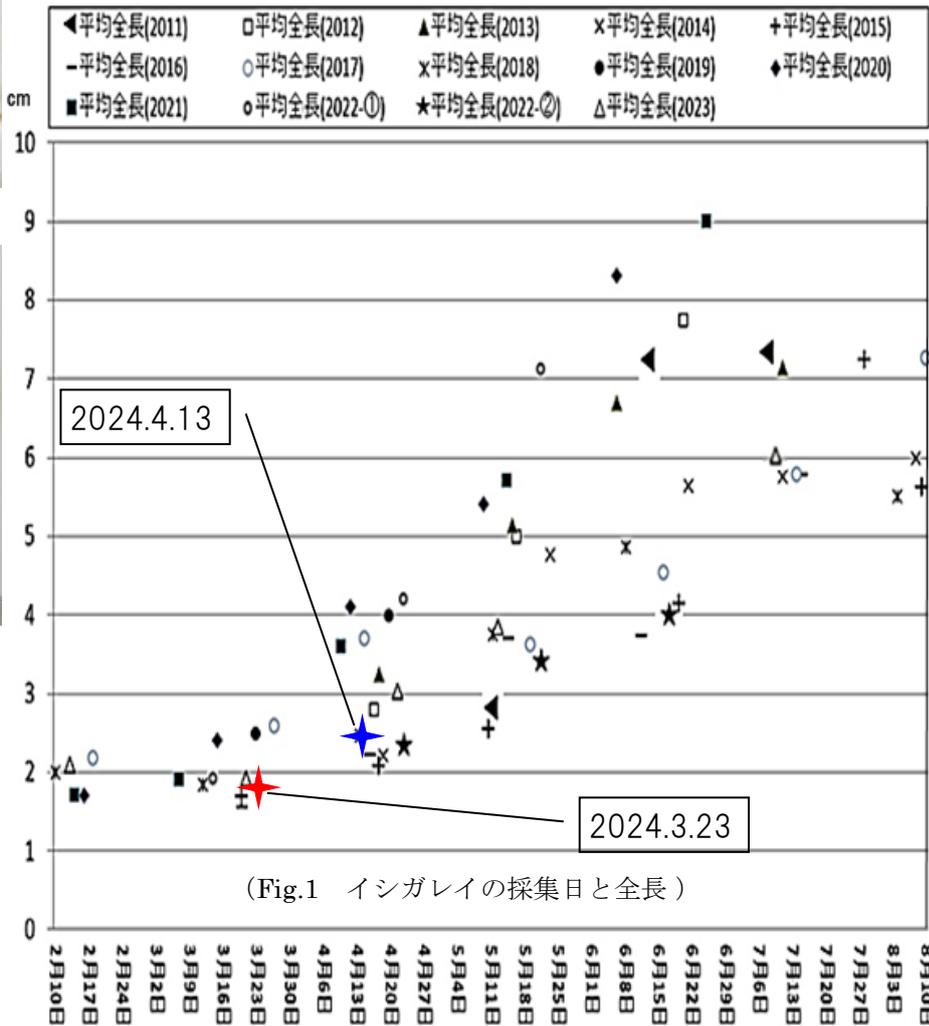
(Fig.2 水門付近で採集した個体)



(Fig.3 河口で採集した個体 腹面)



(Fig.4 河口で採集した目が左側にある個体 ヌマガレイとの交雑種と思われるTable.1には入れていない) (佐藤 賢治)



(Fig.1 イシガレイの採集日と全長)

採集日